

JAPANESE (JA)

**グローバル補助金  
小口融資プロジェクトに関する補足書式**

* 小口融資プロジェクトの実施にあたり、ロータリークラブと地区は、十分に確立され定評のある小口金融機関と協力します。小口金融機関は、地元のロータリークラブまたは地区による監督と積極的な参加の下、当該プロジェクトがロータリーのプロジェクトであると明確にわかるようにし、ロータリー補助金の会計を別個に記録します。
* ロータリー財団の資金を使用した小口融資プロジェクトでは、研修や教育的活動を盛り込むなど、多次元的アプローチを取ります。
* ロータリー財団は、融資保証システムに対して資金を支払いません（例えば、補助金資金を、金融機関がほかから資金を借りるための担保として使用することはできません）。
* 予算に組まれた融資元金が全額融資され、返済され、さらに2回目の融資が行われた時点およびすべてのプロジェクト活動が終了した時点で、ロータリー財団は小口融資補助金が完了したものとみなします。
* プロジェクトの完了後、小口融資の元金は継続した融資を目的に小口金融機関に残されます。プロジェクト終了後に、ロータリー財団へ報告を行う必要はありません。
* 補助金が途中で終了した場合、資金管理に問題がある場合、そのほか深刻な事態が懸念される場合、ロータリー財団は補助金資金の返還を求める権利を有します。

### ロータリー提唱者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 補助金番号 |  | | プロジェクトの実施国 | |  |
| 実施国側地区 | |  | 実施国側クラブ |  | |
| 援助国側地区 | |  | 援助国側クラブ |  | |

### 小口金融機関

小口融資プロジェクトの管理運営にあたる小口金融機関について記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名称 |  | |
| ウェブサイト | |  |

この小口金融機関が十分な経験を有し、定評ある組織であることを証明する情報・書類を提出してください（監査済み財務表、年次報告書、標準的な報告書の例などをこの書式に添付）。

この小口金融機関の現在の想定最大損失額はいくらですか（30日以上延滞の貸付金÷貸付総額）。

この小口金融機関の過去3年間の回収率はどのくらいですか（回収された貸付金額÷貸付総額）。

プロジェクト協力団体と交わした署名済みの覚書（MOU）をこの書式に添付しましたか。　はい  いいえ

**プロジェクトのモデルについて**

このプロジェクトで用いる小口融資モデル（信用グループ、相互保証、個人での借入など）について説明してください。

どのような研修を提供しますか。研修のトピック、目的、研修方法・演習、期間・頻度、研修者について説明し、またこれらの研修は今回新たに実施するものか、または継続して行われてきたものかを明記してください。

プロジェクトでは貯蓄を行いますか。誰がその貯蓄金を集めますか。また、貯蓄金をどこに預けますか。

### 小口融資モデル

|  |  |
| --- | --- |
| 当該地域で一般的な利率 | 率 |
| 小口金融機関 | % |
| 銀行 | % |
| 本プロジェクトの場合 | |
| 適用される利率 | % |
| 受益者一人当たりの平均融資額（予測） |  |
| 融資条件／期間（予測） |  |
| 支払い頻度（毎週、毎月など）（予測） |  |

### 小口融資のキャッシュフロー予測

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1回目の融資サイクル | 数 | 額 |
| 融資元金に割り当てられるロータリー財団補助金資金 | |  |
| 融資 |  |  |
| 回収される融資 |  |  |
| 回収される利子（および該当する場合は手数料） | |  |
| 利子および手数料から支払われる管理運営費 | |  |
| 1回目の融資をすべて回収した時点で予測される融資元金（正味） | |  |
| 2回目の融資サイクル | | |
| 融資 |  |  |
| 回収される融資 |  |  |
| 回収される利子（および該当する場合は手数料） | |  |
| 利子および手数料から支払われる管理運営費 | |  |
| 2回目の融資サイクル終了時点で予測される融資元金（正味） | |  |